

2022年8月3日

各位

株式会社ミキ・ツーリスト
代表取締役社長 福井 茂
取締役執行役員・管理本部長 堀 浩之

株式会社ミキ・ツーリストにおけるガバナンス改善進捗報告

当社は、Go To トラベル不正受給問題発生に於いて、コンプライアンス意識の欠如や内部統制の甘さを改善し、ガバナンス体制を強化することが重要課題であると認識しております。

当社連結親会社である HIS グループのガバナンス強化方針に沿って、以下の通り再発防止に向けた6つの改善措置を実施しておりますことをご報告致します。

再発防止に向けた改善措置

- ① 社内職務権限規程の見直しと業務ガイドラインの可視化
透明性のある業務の遂行を行うため、2022年6月に社内職務権限規程を改定し、特定の役職員（代表取締役）に集中していた既存の職務権限を分散させ、取締役会議に決裁権限を増やすことで機能を向上させました。
また、改定した職務権限規程を従業員に理解浸透させることにより、役職員と従業員のパワーバランスによる不適切な決裁・指示の防止を図っております。
- ② 当社定例取締役会の監視強化
Go To トラベル不正受給問題に於いては、本来取締役会で討議・決議されるべき事案が実態として行われていなかったことが確認されました。取締役会が正しく機能しているかを監視するために、HIS 関係会社管理室によるオブザーブ参加を2022年5月度の定例取締役会より実施しております。
上記①の職務権限規程の改善と合わせ、透明性のある経営体質の構築を図っております。
- ③ 社内業務監査チームの設立
従前の体制に於いては、自助努力によって不正を防止する体制がございませんでした。2022年4月に社内に「自己点検プロジェクト」を発足させ、社員による業務監査を行う体制を構築いたしました。当プロジェクトの目的は、業務監査活動によって不正リスクの洗い出しと撲滅を図ると同時に、従業員自身が活動を行うことにより、コンプライアンス意識を高めることもあります。
当プロジェクトは社内に於いて独立性を以って活動し、定期的に業務監査報告を取締役に報告致します。

④ HIS 監査部による年次監査の実施

当社は Go To 不正受給問題を引き起こした件を真摯に受け止め、リスク管理に於いて必要な策を適宜講じていくために、HIS 監査部による年次監査を受ける事と致しました。当期に関しては、2022 年 6 月に当年次監査が実施されております。上記③とあわせ、リスク管理の観点から改善が必要な項目として提示された事案については、速やかに改善措置を講じて参ります。

⑤ コンプライアンス関連研修の実施

Go To 不正受給受給問題によって露呈した社員全体のコンプライアンス意識の欠如を改善すべく、問題発生以降、以下の研修を当社及び子会社の役職員・従業員全員に対して実施しております。

- ・コンプライアンス・リスク管理に関する研修（2022 年 6 月実施）
- ・管理職者向けハラスメント研修（2022 年 6 月実施）
- （・非管理職者向けハラスメント研修は 2022 年 8 月以降に実施予定）

また当社役職員は、外部団体主催による経営者向けコンプライアンス研修にも参加し（2022 年 3 月）、全社的なコンプライアンス意識の向上に努めております。

⑥ 内部通報機能の拡充

当社は従前より英語対応の内部通報制度をミキ・グループ全体で導入しておりましたが、今回の Go To 不正受給問題では生かされることがありませんでした。この反省を踏まえ、従前の制度に加え、当社を対象に 2022 年 4 月に日本語対応内部通報制度「さわやかホットライン」を導入致しました。

上記の改善措置の柱を中心に、社内の制度・役職員を含む社員のコンプライアンス意識の継続的な改善活動を通じ、体制の強化を進めていくことで、不正の再発防止・信頼回復に引き続き全社一丸となって取り組んで参ります。

以上